

平成27年度 第2回 学校評議員会 議事録

- 1 日 時 平成28年2月22日（月） 15:40～16:50
- 2 場 所 千厩高等学校 会議室
- 3 出席者 学校評議員 及川 宏 氏、佐々木 謙一 氏、伊藤 一志 氏、小野寺 勝 氏
学校職員 校長、副校長、事務長、教務主任、生徒指導主事、進路指導主事、
生産技術科主任兼農場長、産業技術科主任

4 学校概況説明（資料説明）

5 質 疑

【評議員】 資料の「学校評価アンケート集計結果」については、数字の提示だけではなく、分析したうえでの課題を明示し、その改善策まで示してほしい。

また、昨年12月に高校生と市議の懇談会が行われたそうだが、選挙権が18歳に引き下げられたことに伴い、主権者教育については、どのように進めていくのか。

加えて、学校教育は、教職員だけではなく、保護者や地域の協力を得ながら進めていく必要があるが、PTAとの連携については、どのように行っているのか。

【学 校】 学校評価結果については、そのとおりであり、改善して提示できるようにしたい。

主権者教育については、これまでも公民科の授業を中心に行ってきたところであるが、文科省の副読本等も活用しながら、一層充実させていく。併せて、新年度早期に、市選挙管理委員会の協力を得ながら、出前授業等を実施する予定であり、18歳選挙権に対応した教育を推進していきたい。

また、PTAとの連携については、役員会、総会のもとより、学年PTA等において、機会をとらえて、校長、学年長等から細やかに情報提供を行い、保護者と情報共有を図りながら行っており、PTA会長、副会長とも随時情報交換を行うなど、連携強化に努めてきている。

【評議員】 授業を参観したが、生徒は、総じて真剣かつ真面目な姿勢であった。先生方も、工夫しながら授業を行っていることが伝わってきた。

【評議員】 地元の団体をとおして、本校のインターアクトクラブの活動を支援している関係で、海外留学をする生徒や地元の福祉施設に車椅子を寄贈する活動を行っている生徒の活躍を知っている。さまざまな活動によって、見聞を広めたり、地域との交流を深めたりして、今後も地域に貢献できる生徒を育成してほしい。

【評議員】 県内では、地域によって、非行、特に性に関する指導の甘さに起因する非行が問題になっている所があると聞く。性に対するモラル指導にしっかり取り組んでいただきたい。また、スマホ絡みの事案については、高校生だけでなく、小中学校の児童生徒にも見られるようだ。引き続き、SNSの利用等に対し、注意を喚起していただきたい。

また、学校評価結果については、組織マネジメントを生かしながら、各分掌等で分析をし、課題に対してどのように改善するのか、目標を立てて実行する必要がある。そのことにより、分掌も活性化する。

教育の使命として、社会に有為な人材の育成が挙げられる。就職希望者は、昨年中

に内定率 100%を達成したとのことだが、卒業後の離職率については、どのように把握しているのか。

【学 校】 毎年、就職先企業に調査を行い、離職者の把握を行っている。職種によってばらつきがあるが、平均して、就職 1 年目での離職率が 10%程度、3 年目では、20%強である。本校では、離職者を増やさないために、内定者に対し、フォローアップ研修を行っており、生徒が就職環境にスムーズに移行できる体制をさらに整えていきたい。

【評議員】 概況説明や校報から、生徒が素晴らしい活躍をしていることが分かった。就職にしても進学にしても、先生方が工夫した指導を行ってきた結果が現れていると思われる。岩手県議会での議決後は、新グラウンド整備も本格化し、教育環境もさらに整えられていくので、本校の 3 学科併設の特色を生かして、今後とも魅力ある学校づくりに努めてほしい。